

指導ツールの改良を、これまでは他校の教師とともに検討してきた本コーナーは、今号から、校内の教師同士で検討するコーナーにリニューアル。初回となる今号は、静岡県立下田高校で2年次6月に活用している「学部・学科調べワークシート」について検討した。

改良! 指導ツール

ビフォー
アフター

Before

①-2 自分の志向性タイプ
 その中で最も興味のある学問は...

学部・学科調べワークシート (表面)

HRNO () NAME { }

①-1 興味・関心のある学問系統
 その中で最も興味のある学問は...

②-1
 【何が学べるか】

【学んでおきたい教科・科目】

--

【めざす資格・受験資格など】

--

【主な活躍の場】

--

自分が興味・関心のある学問系統と、適性検査でマッチング度合いが高いと診断された学問系統の、2つの学問系統を調べること、生徒の視野を広げる。表面と裏面の主要な質問項目は同じ。自分の興味・関心と適性検査の結果が一致していれば、表面の記入のみでよい。

改良会議実施校

静岡県立 下田高校



進路指導主事
稲葉 渉
いなば・わたる

教職歴24年。同校に赴任して2年目。2017年から3回、本コーナーに登場している。



1学年担当
鈴木翔太
すずき・しょうた

教職歴9年。同校に赴任して4年目。



2学年担当
佐々木裕己
ささき・ゆうき

教職歴5年。同校に赴任して4年目。

ねらい

2年次6月の学部・学科調べで活用。初めて志望校を記入する7月の模擬試験に向けて、大学・学部・学科選択への意識を高めるとともに、夏季休業中に参加するオープンキャンパスの事前準備につなげることをねらいとしている。

課題

- 1 進路情報誌の内容を書き写すだけの取り組みにとどまり、進路観の醸成につながっていない生徒が見られる。
- 2 オープンキャンパスなど、その後の活動とのつながりが、教師、生徒ともに見えにくい状態にある。

静岡県立下田高校

◎静岡県立下田北高校と静岡県立下田南高校が統合し、2008年、静岡県立下田高校となる。「至誠・雄飛・献身」を校訓とし、知・徳・体の人間教育、開国の町・下田にふさわしい国際感覚の育成にも力を入れる。

◎設立 2008(平成20)年

◎形態 全日制、定時制/普通科・理数科/共学

◎生徒数 1学年約210人

◎2019年度入試合格実績(現役のみ) 国公立大は、千葉大、横浜国立大、静岡大、奈良女子大、広島大などに45人が合格。私立大は、法政大、明治大、立教大、早稲田大などに延べ218人が合格。

◎URL <http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimoda-h/>

*プロフィールは2020年3月時点のものです。

2年生 学部・学科調べワークシート

After



ワークシートの問いを、面談での活用を前提にして、担任や保護者に伝えたいポイントを考えてさせる内容にすることで、自分事として書こうという生徒の意識を高められるように思います。本校は、生徒との距離がよい意味で近い若い教師が多く、面談も活発に行われているので、本校の特徴に合ったツールになったと思います。



「オープンキャンパスで教授に質問してみたいこと」など、シート記入後の活動につなげたのはポイントの1つです。私のクラスでこのシートを使う時は、「4年間の大学生活のイメージ」「履修できる講義や実習」など、より具体的な大学選択に近づけるような項目も盛り込みたいです。



学部・学科の概要を調べるだけでなく、そこで自分が学んだら、何ができるようになるのか、自分の将来に結びつけられる問いにしたのがよかったと思います。元のシートもそうしたことを意図していたのですが、もっとそのねらいにふさわしいアプローチがあったことに気がつきました。

表面は自分の興味・関心に基づいて記入し、裏面は適性検査でマッチング度合いが高いと診断された学問系統について調べ、記入する。興味・関心と適性検査の結果が一致した場合は、興味・関心のある分野に近接する学問系統について調べて記入する。

興味・関心のある学問系統

その中で最も興味・関心のある学問

①学問内容について考える(担任や保護者などに伝えたいポイントを考えて書こう)

どのようなことが学べるか

その中で自分が学びたいことは何か、それはなぜか

自分事にしよう

シートに記入した内容を基に、担任と面談をしたり、三者面談で保護者に説明したりするなど、他者に伝えることを意識して書かせる。

②大学卒業後の生き方について考える(担任や保護者などに伝えたいポイントを考えて書こう)

①で記入した学問内容は、社会のどのようなこととどうつながっているか(身につく力、関係の深い職業や資格はどのようなものだろうか)

①で記入した学問内容を学ぶことで、何ができるようになりたいか(自分のために・大切な人のために・社会のために、などの観点から書こう)

自分事にしよう

③クラスの仲間と考えを深める

同じ学問系統の志望者を始め、仲間に聞いてみたい

聞いた結果、分かったこと、新たに知ったこと

仲間とともに深める

④上記①②にふさわしい大学への見通しを持つ(書ける人は大学名を記入)

大学のオープンキャンパスで教授や大学生に質問してみたこと

教授や大学生からの回答、または、オープンキャンパスに参加して興味を持った授業・ゼミなど

実際に調査

大学名まで書ける生徒には、その大学を選んだ理由を面談で聞く。オープンキャンパスでの質問項目は、生徒同士の話し合いの中で考えさせてもよい。

改良ポイント

- 1 興味・関心のある学部・学科の概要だけでなく、「そこで何を学びたいのか」「それを学ぶことで、何ができるようになりたいのか」と、生徒自身の見通しを記入させるようにする。
- 2 同じ学問系統を志望する生徒同士で話したいことや、オープンキャンパスで調べたいことを記入させるとともに、その活動後の気づきも記入させる。

どのような対話を通じて改良できたのかは、次ページで!!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

実録

改良会議

先生方の
対話のダイジェスト生徒が進路を「自分事」として捉え、
行動を起こせるように
問いを見直し、面談につなげる

「自分は」というフィルターで進路を問う

佐々木 今年度、「学部・学科調べワークシート」を活用しましたが、進路情報誌の内容をシートに書き写すだけの生徒もいました。作業で終わらせないためには、もう少し工夫が必要だと感じました。

河野 まず、シートのねらいを確認しましょう。

稲葉 限られた範囲の知識や経験を基に進路を決める傾向が生徒にはあります。興味のある学部・学科だけでなく、適性検査で薦められた学部・学科も調べさせているのは、ほかの選択肢があるかもしれないと、生徒の考えを揺さぶるためですね。6月という活用時期には、初めて志望校を記入する7月の模擬試験と、夏季休業中に参加するオープンキャンパスの事前準備という意図もあるはずです。

鈴木 「2年生になったばかりの生徒が取り組むには、ちょっと雰囲気は堅苦しいかも」と感じました。生徒が主体的に取り組みたくなる要素を盛り込みたいと思います。現状のシートは事実を調べて書くことを求めている問いかけなので、もっと自分事とし

て考えられる問いかけになれば、取り組みの姿勢も変わってくるのではないのでしょうか。

河野 「『自分事』として考えられる」というのは、改良のポイントになりそうですね。

稲葉 学部・学科を「自分事」として掘り下げたために聞きたいのは、「君はそこで何を学びたいのか、それを学ぶことで、何ができるようにしたいのか」です。生徒に「自分は」という観点で考えさせる問いが必要です。

佐々木 進路を自分事として考えることで、目的意識が明確になれば、自分に必要なことをメタ認知して学習を行う「受験生としての自覚」を芽生えさせることにもつながると思います。

「見通し」が受験生としての自覚を促す

河野 「受験生としての自覚」を促すために、これまでどのような指導に力を入れてきましたか。

佐々木 受験生として自走できるようにするために、まずは学習習慣の確立に向けてしっかりと手をかける必要があると考え、生徒との面談を頻繁に



改良会議ファシリテーター

VIEW21編集部
高領域担当責任者
河野仙一
こうの・せんいち

「今回、初めての試みとして、校内で改良会議を行いました。こうした時間を捻出するのが難しい一方で、先生方は校内での議論を渴望していたのではないかと思います。苦吟を重ねた約3時間の会議が『あつという間だった』という先生方の言葉が印象に残っています」

改良会議を振り返って



今回の対話の中で、自分にはなかった視点を得られました。指導ツールだけでなく、教師としての自分の「あたり前」を、時間の許す限り揺さぶり、見直していきたいです。



対話する中で、自分の意見が深まったり、変わったりしたのは面白かったです。こういった対話の場を、教科や分掌の中で少しずつ広げ、いろいろな先生を巻き込みたいです。



新課程に向けて、探究学習を軸にしたグラウンドデザインの作成に取り組みたいと考えています。そのために、今回のような対話を通じて、「チーム下田」を模索していきます。



鈴木 それは、よい活用の仕方ですね。生徒の成長を促すだけでなく、受験に対する保護者の意識を高めることもできそうです。

鈴木 それは、よい活用の仕方ですね。生徒の成長を促すだけでなく、受験に対する保護者の意識を高めることもできそうです。

稲葉 見通しは自走化に欠かせないものです。シートでも、「自分は何を学び、何ができるようにしたいのか」という先の見通しを問うことが重要です。そうした問いかけを、シートだけではなく、面談などでも繰り返していきたいですね。三者面談の場で、シートの内容を基に、生徒に進路の見通しを披露させるのもよいでしょう。

鈴木 私が心がけたのは、模擬試験や校内テストの返却時に、成績に一喜一憂させずに、次の目標を設定し、計画を立てさせることでした。次の見通しを持って動く習慣を身につけさせたかったです。

実施してきました。進路上の興味・関心だけでなく、学習状況などについて、担任するクラスの生徒は2か月に1度は私と語り合います。

河野 シートの運用面でも、進路に対する生徒の視野を広げる工夫ができそうでしょうか。

稲葉 生徒をグループにして、シートの内容を共有するという仕かけは、効果的だと思います。

佐々木 ただ、現時点での成績では達成が難しい高い目標を掲げている生徒にとっては、自分の志望を同級生に伝えるのは抵抗感があるかもしれません。

鈴木 目標に見合った努力をしているかどうかを内省する機会をつくる意味でも、私は生徒同士で志望を語り合うことに価値があると考えます。授業などで意見や感想を語り合うことが増えていますから、それほど抵抗感はないようにも思います。

稲葉 意見が分かれましたが、語り合う中でこそ、運用上の留意点が浮き彫りになるはずです。我々も視野を広く持ち、指導を追究していきたいでしょう。

河野 シートの運用面でも、進路に対する生徒の視野を広げる工夫ができそうでしょうか。

稲葉 生徒をグループにして、シートの内容を共有するという仕かけは、効果的だと思います。

佐々木 ただ、現時点での成績では達成が難しい高い目標を掲げている生徒にとっては、自分の志望を同級生に伝えるのは抵抗感があるかもしれません。

鈴木 目標に見合った努力をしているかどうかを内省する機会をつくる意味でも、私は生徒同士で志望を語り合うことに価値があると考えます。授業などで意見や感想を語り合うことが増えていますから、それほど抵抗感はないようにも思います。

稲葉 意見が分かれましたが、語り合う中でこそ、運用上の留意点が浮き彫りになるはずです。我々も視野を広く持ち、指導を追究していきたいでしょう。

河野 シートの運用面でも、進路に対する生徒の視野を広げる工夫ができそうでしょうか。

稲葉 生徒をグループにして、シートの内容を共有するという仕かけは、効果的だと思います。

佐々木 ただ、現時点での成績では達成が難しい高い目標を掲げている生徒にとっては、自分の志望を同級生に伝えるのは抵抗感があるかもしれません。

鈴木 目標に見合った努力をしているかどうかを内省する機会をつくる意味でも、私は生徒同士で志望を語り合うことに価値があると考えます。授業などで意見や感想を語り合うことが増えていますから、それほど抵抗感はないようにも思います。

稲葉 意見が分かれましたが、語り合う中でこそ、運用上の留意点が浮き彫りになるはずです。我々も視野を広く持ち、指導を追究していきたいでしょう。

河野 シートの運用面でも、進路に対する生徒の視野を広げる工夫ができそうでしょうか。

稲葉 生徒をグループにして、シートの内容を共有するという仕かけは、効果的だと思います。

佐々木 ただ、現時点での成績では達成が難しい高い目標を掲げている生徒にとっては、自分の志望を同級生に伝えるのは抵抗感があるかもしれません。

鈴木 目標に見合った努力をしているかどうかを内省する機会をつくる意味でも、私は生徒同士で志望を語り合うことに価値があると考えます。授業などで意見や感想を語り合うことが増えていますから、それほど抵抗感はないようにも思います。

稲葉 意見が分かれましたが、語り合う中でこそ、運用上の留意点が浮き彫りになるはずです。我々も視野を広く持ち、指導を追究していきたいでしょう。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています！

「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容（目的・活用時期・活用方法）
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集をご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口（0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時）にて承ります。（株）ベネッセコーポレーション CPO（個人情報保護最高責任者）
上記をご承諾くださる方はご送信ください。